

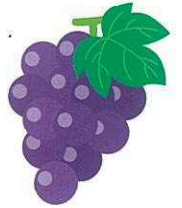
動きだす、あなたの思いをお結びする市民活動情報誌

# おむすび たかしま

60

2023  
Autumn

令和5年度 高島市協働提案事業  
“たかしまで女性のライフワークを叶える”



高島を働きやすく  
暮らしやすいまちに

ピボット  
Pivot

高島で暮らす女性に、新しい働き方の選択肢を提案したいという思いから生まれたプロジェクト「Pivot(ピボット)」。

高島市 人権施策課との協働提案事業として始まったこの事業が目指しているのは、誰もが働きやすく暮らしやすい魅力的なまちをつくること。働くことをめぐる価値観が多様になってきている時代だからこそ、自分を見つめ直し、もともと持っている素質や可能性に気づいてほしい。そのために、さまざまな知見に触れ、スキルアップにつながる機会を提供しています。その対象は、性別や世代に関係なく、自分のいまの局面を変えたい方すべてです。

6月と9月、高島市働く女性の家で開催された「自己実現ワーク&相談・交流会」では、講師の方からの



打ち合わせにも熱が入ります

## 人権施策課



6月22日に第1回目のセミナーを開催しました。

お話やワークショップを通じて、自身にもともと備わっている強みやスキルを再確認して、自分がやりたいことを形にするためのモチベーションを高めました。

12月2日には、実践の場として「スタートアップマルシェ」を開催予定。この事業が、高島の地域にとっても高島の経済にとってもプラスになることを信じて、これから自分で何かを始めようという方に寄り添っていきます。



「スタートアップマルシェ」  
12/2(土)  
10:00～15:00  
平和堂今津店で  
開催予定!

### 【問い合わせ先】

● 高島市役所 人権施策課 TEL: 0740-25-8524

● Pivot ～たかしまで女性のライフワークを叶える～  
<https://pivot.hp.peraichi.com/>



詳細は下記 QR コードからご確認ください。  
<https://startup-marche.hp.peraichi.com/>



## 顔を合わせたら ホッとできる居場所です

マキノ町で、障がいを持った子どもたちが集まれる場所として「ニコニコクラブ」が設立されたのは、学校が週休二日制になろうとしていた2001年のこと。そんな場所を作りたいという保護者の皆さんの思いが形になりました。いろいろなおもちゃで遊べる「おもちゃ図書館」の活動や、みんなで外出したり、イベントを開催するなど、ボランティアの皆さんの協力を得ながら、子どもたちの将来についての情報交換の場としての役割も担いつつ運営を続けています。

現在の活動は、月に一度、主に今津東コミュニティセンターで開催。市内各地にお出かけす



活動日は月に一度(週末中心)。お出かけしたり、季節のイベントを開催したり、楽しくやっています!

### ニコニコクラブ おもちゃ図書館

代表 高木 照代  
設立年 2001年  
会員 20名  
連絡先 TEL: 0740-28-0071



E-mail: teru.t2ko2ko@docomo.ne.jp

※実際の活動日は会員の皆さんの参加状況により決定しますのでお問い合わせください。

ることもあり。活動が始まったころ、当時小学生だった子どもたちは二十歳〜三十歳台になり、保護者世代も同様に年齢を重ねてきました。

「現在は、障がいを持った人たちのための公的な制度が充実してきている一方で、彼ら自身は何を望んでいるのか、何が楽しみなのか、保護者の皆さんは、これからの生活をどうデザインしていくのか、そうしたことを考えていかなければならなくなってきました」そのためにも、地域のネットワークを増やし、顔を合わせたらお互いホッとできる居場所にしたいたいと考えています」と代表の高木さん。皆さんもぜひ気軽に遊びに来てください。

# はっけん! きらっと市民活動

## in たかしま

高島市で活躍するきらっと輝く市民活動団体をご紹介します。

### 風景と暮らしを守る 気持ちこそこれからも

2004年、NHKで放映されたドキュメンタリー番組「映像詩 里山 命めぐる水辺」の舞台となった新旭町針江地区。その映像を観て訪れた方が、個人宅の敷地内にある「かばた」に無断で立ち入ることがあり、地元住民で話しあい、ガイドと一緒に「かばたを見学するルールを作ったのが「針江生水の郷委員会」が発足したきっかけでした。住民が安心して暮らせることと、来訪者に満足していただくことを両立させようと、ルールを少しずつ進化させながら今年で19年目を迎えました。

現在、ガイドをしているのは五十〜七十代の8名。事前予約制で、午前と午後の一日2回行っ



さまざまな生き物が暮らしている針江大川は子どもたちにも大人気。

ています。ボランティアによる運営で、メンバーの高齢化も進んでいるため、持続可能な仕組みにすることが課題となっています。この夏は、子どもたちには水への関心を持ってもらおうと、琵琶湖博物館の研究者の方と川の生き物観察会を開催したり、高校生のためのガイド体験会を企画したりしました。

「番組を通じて、『何も無いと思っていた』地元の美しさ、かばたのある豊かな暮らし、びわ湖からの水を使う地域の人々への思いやりと互いの絆に気づきました」「風景と暮らしを守る気持ちは、来訪者との一期一会のふれあいから故郷に誇りを感じることや育まれると思います」と会長の山川さん。その想いは未来へと続きます。

### 針江生水の郷委員会

会長 山川 悟  
設立年 2004年  
会員 50名  
連絡先 TEL: 0740-25-6566

E-mail: shozunosato@lapis.plala.or.jp  
ホームページ: http://harie-syozu.jp/



かばたを巡るツアーは  
原則 10:00、14:00 の出発。  
※事前申し込みが必要です



## 高島の元気企業

このコーナーでは、地域に根ざした活動や社会貢献活動をしている高島市の企業を紹介しています。

## 守り育てられてきた観光の町の良さを次の世代に

農事組合法人 マキノ町果樹生産組合 桂田 亘 さん

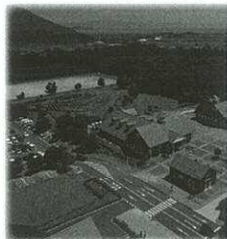
全国から観光客を集めるメタセコイア並木やマキノピクランドを管理するマキノ町果樹生産組合。マキノピクランドの桂田亘さんに、その歴史と次世代への想いをお聞きしました。

1960年代の高度経済成長期、広さ60ヘクタールの雑木林を農地化しようと、周辺の地権者が話し合い、観光栗園として約4万本の栗を植えました。1975年に農事組合法人を設立。毎年1万人が訪れるようになりました。1996年以降は、サクランボ、ブルーベリー、ブドウ、リンゴを順次栽培し、四季折々楽しめる観光農園や農産物直売所を整備していきました。ピクランドの北にあるマキノ高原には大正末期には当時全国的にも数少なかったスキー場が開設されていて、観光が地域産業の基盤になっていたそうです。

メタセコイアを植樹したのは1981年のこと。防風を目的に、大きく早く成長し、樹形も美しい木として選定されました。現在は、約2.4kmにわたり500本以上が並ぶ美しい並木道へと成長しました。地域のボランティアグループ「マキノのメタセコイア並木を守り育てる会」の皆さんの活動でこの景観が維持されています。植樹をした当時は、今のように注目を浴びるようになるとは、誰も想像をしていなかったそうです。

2024年には、並木の風景を生かした馬と触れあえる施設がオープン予定。引退した競走馬たちに、居場所とさらなる活躍の場を提供します。

「平成7年（1995年）に策定された『マキノ町高原地域等観光開発調査基本計画』に、馬に関する施設の構想が描かれています」と桂田さん。28年前からの計画を大切に温めてこられた姿勢が、新しい事業につながっています。「山の連なり、広がる水田と並木の風景が好きです。観光地の良さとして引き継ぐ大切さを、次の世代にも考えてほしいですね」と言葉を結ばれました。



農事組合法人 マキノ町果樹生産組合  
(高島市マキノ農業公園マキノピクランド)

TEL: 0740-27-1811  
メール: picland@office.eonet.ne.jp  
ホームページ: <https://pic-land.com>

ホームページ



たかしま市民協働交流センターでは市民活動に関して、様々な疑問、相談をお受けしています。ここでは、お寄せいただいた質問や相談とその回答についてご紹介します。



### 助成金の申請をしてもなかなか採択されません

Q.

グループの活動費用を調達しようと考え、何度か助成金を申請していますが、なかなか採択されません。どうすれば自分たちの活動が採択されるようになりますか？

A.

自分たちが助成を受けたい活動の目的や内容と、助成を出す団体の目的が合っていないと、採択されて助成を受けることはできません。助成団体のホームページなどで、募集要項のほか、その助成事業の目的や過去の助成実績なども確認し、助成を受けたい活動が助成団体の目的に合っているかを考えて申請することが大切です。

申請書には、様式に従って活動の目的や実施スケジュール、期待される効果などを記載します。それらはできるだけ具体的に書けるよう準備してください。さらに、実施する体制、実施時期や場所なども申請時に分かっている範囲で詳しく書けると、活動目的の実現性が高いと評価されます。提出の前には、第三者に見ていただいて、伝わりやすい文章になっているか、様式の求めに合った書き方ができているかを確認しておくといいでしょう。

たかしま市民協働交流センターでは、皆さんの活動に合った助成金のご紹介や申請書の書き方をサポートしています。お気軽にご相談ください。

◎市民活動についての疑問、相談などお寄せください！



## たかしま市民活動フェスタ2023

～みんなどうしてた？ ひさしぶりだよ♪ 全員集合!!～

2023年11月12日(日)、今津東コミュニティセンターを会場として市民活動団体の交流イベント「たかしま市民活動フェスタ2023」を開催します!

さまざまな分野で活動する市民活動団体・グループ等の活動を五感で感じ、楽しく充実した一日をお過ごしください。会場への入場は無料です。お車でお越しの方は、高島市民会館の駐車場をご利用いただけます。

- 時間: 10:00 ~ 15:00 (雨天実施、荒天中止)  
※ 当日の天候、気象状況により、実施するイベントの内容に変更等が発生する場合があります。

### ○ 内容 (予定)

模擬店	飲食、スイーツ、野菜類、雑貨類、日用品 など
体験コーナー	ゲーム、スポーツ、音楽、健康づくり など
展示	各団体の紹介、住民自治協議会の取り組み紹介
演奏 パフォーマンス	キッズダンス、よし笛、着ぐるみ、コンサート など

盛りだくさんの内容で皆さまのお越しをお待ちしています。詳細はたかしま市民協働交流センターのブログなどで随時お知らせしていきます。

たかしま市民協働  
交流センターのブログ



<https://tkkc.shiga-saku.net/>

## 市民の活動に助成金を活用しよう!

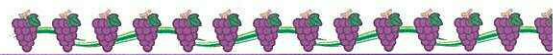
～助成金を出す側の想いを聞き、申請書の書き方を考える～

助成金の申請をする時には、助成を出す側の目的を理解しておくことが必要です。助成金を申請するための基本と申請書の書き方を学びます。助成団体の想いも直接お聞きできる機会です。ご参加お待ちしております!

- 日時 11月26日(日) 14:00 ~ 16:30
- 場所 今津東コミュニティセンター 2階 中会議室
- 講師 遠藤恵子さん  
(NPO 法人 まちづくりスポット大津 理事)

○ 参加費 500円 (資料代)

お問い合わせ・お申し込みは、たかしま市民協働交流センターまでどうぞ



## 「まちづくり講演会」開催しました!



活発な意見交換が行われました

たかしま市民協働交流センターでは、7月9日に、安曇川公民館で「暮らす1人ひとりがまちづくりの主役～東近江市のまちづくり協議会から学ぼう」を開催しました。

東近江市では、合併を機に「地域のことは地域で考え地域で解決していく」市民主体の自治組織の設立が進められました。講演会の前半では、五個荘地区まちづくり協議会と蒲生地区まちづくり協議会の2地区の方から設立経緯や事業などをお聞きし、後半は五個荘地区、蒲生地区、東近江市まちづくり協働課の3グループに分かれて、質問にお答えいただき、じっくりお話しを聞く時間としました。

今回は、市内の6地域の住民自治協議会の方々や関心をお持ちの市民、市職員の方など約50名が参加され、「これからの自治協議会の可能性が感じられた」「自治協議会の役割りや目的が理解できた」「まちづくり条例の中で、事業を担う組織の設置や拠点づくりに言及していて、たいへん参考になった」などの感想をいただきました。

## 「居場所に関わっている方のための交流会」

高島市内でさまざまな「居場所(通いの場)」の運営に関わっている方のための交流会を行います。

- 日時: 10月10日(火) 19:30 ~ 21:30
- 場所: 今津東コミュニティセンター 2階 中会議室
- 定員: 20名
- 参加費: 無料

ここから  
お申し込み→  
できます



お問い合わせ・お申し込みは、たかしま市民協働交流センターまでどうぞ



### 発行: たかしま市民協働交流センター

(委託運営: NPO法人コミュニティねっとわーく高島)

〒520-1622 高島市今津町中沼1丁目4-1  
(今津東コミュニティセンター内)

TEL: 0740-20-5758 FAX: 0740-20-5757

E-mail : webmaster@tkkc.takashima-shiga.jp

ホームページ : <http://tkkc.takashima-shiga.jp/>

ブログ : <https://tkkc.shiga-saku.net/>

Facebook : <https://www.facebook.com/takashimashiminkyodo/>

<メルマガ会員募集! 市民活動情報をお届けします>

### 編集後記

この秋、高島市内では各地で趣向を凝らしたさまざまなイベントが行われます。たかしま市民協働交流センターでは、市民活動団体の情報発信や交流の機会として、「たかしま市民活動フェスタ2023」を開催しますが、コロナ禍でイベントの開催が難しい時期が続いていましたが、世代や立場を越えて、さまざまな方にとって出会いと学びの機会になるよう、実行委員会の皆さん、参加団体の皆さんと企画を考えています。皆さま、11月12日は今津東コミセンにお越しください。(K)

“この場所に  
広告を載せてみたら  
どうだろう?”

そう思ったら  
たかしま市民協働交流センターまで  
ご一報ください。

お問い合わせ  
フォーム



ホームページ

